

【頑張る 舞鶴商工会議所③】

## 舞鶴商工会議所 稼げる地域へ全力

舞鶴商工会議所は、経済活動や企業支援、まちづくり活動など様々な分野で、国・府・市等の関係機関と連携をしながら、各種の事業を推進しています。ここでは、その一部をご紹介します。

### 舞鶴商工会議所 戦後の経済復興へ先陣

舞鶴商工会議所は、戦後間もない昭和21（1946）年10月19日に全国で141番目、京都府内では2番目に創立され、今年で74周年になりました。

商工会議所の歴史をたどると、創始者は渋沢栄一で、明治11（1878）年に英国を模範にして、東京、大阪、神戸に設立されています。なお、渋沢栄一は来年のNHK大河ドラマ「青天を衝け」の主人公であり、2024年に発行される新1万円札の肖像画にもなる人物です。

昭和3（1928）年には、「商工業の振興発展と社会一般

の福祉の増進」を目的に「商工会議所法」が施行され、日本商工会議所が成立しました。

### 舞鶴商工会議所 小西会頭を先頭に活動

舞鶴商工会議所は市内唯一の「総合経済団体」として活動し、会員数は、今年10月1日現在、1,045となっています。小西剛会頭を先頭に3人の副会頭、参与・専務理事・常務理事各1人、監事が3人。さらに常議員が25人。そして、1号議員は31人、2号議員19人、3号議員は1人。それに企画立案組織として7委員会、推進組織の10部会があります。

## 主要な事業・取り組み

### 国・府・市への提言要望活動



会員事業所の意見を集約し行政機関へ要望しています

商工会議所には、最重要の役割として、国・府・市等への「提言要望活動」があります。取り分け、全国で大きな課題となっている、疲弊した地方の振興と発展のためには、全国の515商工会議所とのネットワークを最大限に活かした取り組みが不可欠です。日本商工会議所（東京都）と各地域の商工会議所が一体となって、政府や各省庁に対し政策提言活動を実施しています。

舞鶴商工会議所でも、会員事業所の意見を集約し、京都府や舞鶴市に対して「より良い舞鶴」のために、地域に密着した内容を中心に要望を行っているところです。また、舞鶴市、舞鶴市議会などとともに、道路整備や京都舞鶴港

の振興をはじめ、「稼げる環境づくり」に関連した喫緊の課題について、国や京都府などに対して要望活動にも取り組んでいます。

### 補助金制度—事業推進を支える

経営の改善や販路開拓、事業の維持・継続などに対する補助制度があります。毎年、多くの事業者の皆様にご利用いただいています。今年度の内容は次のとおりです。

○「中小企業知恵の経営ステップアップ事業」補助金

[小規模企業] — 補助率2/3、上限額20万円

[中小企業] — 補助率1/2、上限額30万円

○小規模事業者持続化補助金 — 補助率2/3、上限額50万円

[対象] 商工業者で従業員20人（商業・サービス業は5人）以下

### 経営相談—きめ細やかに対応

舞鶴商工会議所では7人の経営支援員が、会員事業所からの様々な経営相談について、「寄り添いながら、きめ細やかに」をモットーに対応しています。特に今年は、2月4日JMUの商船建造撤退に関連して「JMU関係経営相談」と新型コロナ対策として「新型コロナウイルスに関する経営相談」窓口を開設し、様々な対応をしているところです。